

主任介護支援専門員情報交換会報告

日時：平成29年9月19日（火） 14:00～15:30

場所：レスパイトおがせ

担当：カーサ居宅 田島 ・ カーサ包括 山田

参加者数：29名

1.) グループ別フリートーク内容

①グループ

☆見学実習について

- ・2月に有料老人ホームから1名(40代)
3日間で予定を組み、サ坦に 参加できた。
教科書に沿った内容を講義、教えることで自分達も勉強になった。
実習生と予定をあわせることが大変だった。→インテークの同行・時期的に年度末で忙しい

☆集中減算について

- ・毎月利用割合を出して超えないようにチェックしている。
- ・訪問介護は、利用数が少ないと一人で割合が変わるので気をつけている。
- ・利用者の為に選定しているのでしかたがない。

☆主任ケアマネ様式について

- ・監査の為に取り寄せた。様式は特に規定はない。
- ・困難ケース相談票を包括からもらっていない。(最初はもらっていた)

☆ケアマネの勉強会に関して

- ・居宅部会での勉強会が少なくなって来ている。
- ・障害・基幹型→1/16包括主催ちよこっと勉強会の予定(各務原市基幹相談支援所行について)

☆地域づくり・人づくり

- ・包括の行事に参加して、民生委員とのつながりを持つ
- ・カフェの手伝いに行く
- ・主任CMとしての責務？

②グループ

☆見学実習について

- ・初めての事。どうやったらよいか悩んだ。
- ・1名受け入れた。介護の仕事経験が無い方だったのでかえってやり易かった。
3件サ坦に参加。1日3件モニタリングに参加できた。
普段は他の人のサ坦を見ることはないが、実習生と一緒に3件見ることが出来、勉強になった。
最後に「ここで働きたい」と言ってもらえた。
- ・1名訪問介護をやっている幼稚園の子供さんがいる方。
時間の都合を合わせることが難しかった。
いろいろ質問があり戸惑った。
- ・1名受け入れたが業務について振り返りが出来た。

☆集中減算について

- ・どうしてもない時がある。特に医療系→デイケア・療養型ショートはどうしても偏ってしまう
- ・利用者の事を考えて事業所を選んでいる。

☆主任CM更新申請について

- ・迷っている。
- 地域つくりと言われても何をするのか見えてこない。

☆2割負担となりサービス利用控えはあったか

- ・感じることはない。
- ・必要かどうか見極める。

☆主任ケアマネ様式について

○特定事業所加算に係る～記録について

- ・非常勤の出入りがあるので記入の仕方に戸惑うことがある。

○困難ケース相談票について

- ・どこで困難とするか。→受け入れた人が困難と判断すればいい？
- ・包括からは困難としてこない。→包括の方から言ってもらえると有り難い。
- ・報告が必要な人について書類を書いている。
- ・相談票を書きましたよと包括に言ったことはない。

☆居宅の勉強会について

- ・少ないと思う。
- ・去年のような包括と主任CMと一緒にやる機会があると良い。(事例検討会等)
- ・実地指導の報告内容に虐待防止研修について書かれていたが・・・
- 1月か2月に行われる予定

③グループ

☆見学実習について

- ・ヘルパー事業所の方で、はじめてで手探りでやった。難しかった。
新規のアセスメントができなかったので、書類で説明した。
必ず主任CMが対応しなくてよいので他のCMにも協力してもらった。
2月で忙しい時期だったので、自分の業務が遅れた。
- ・1か月間に半日で6回 岐阜のデイケアの事業所の方
3人のCMで割り振りした。サ坦も割り振りした。どうしても出来ないところは口頭で説明した。
介護を全く知らない方
サ坦が組み込めず実際に参加できない時は説明だけになる。
やる気のある方であったがどこまで理解されているか・・・カリキュラムを組むのが難しかった。
実習生の仕事の都合に合わせることも考えないといけない。
- ・自分も見返すことが出来た。
- ・新しいテキストが見れて自分も勉強になった。

☆集中減算について

- ・デイケア 80%・・・無理 医療系はどうしても難しい。利用者が希望される。
- ・老健のショート・デイ

☆主任ケアマネ様式について

○特定事業所加算に係る～記録について

- ・毎月作成している？
- ・特定事業所加算に必要な為作成している。
- 支援困難ケース相談票
- ・包括からもらったことがない。
- ・包括で出してほしい。途中でももらえるのか。
- ・途中から包括を巻き込んで支援する時は・・・？
- ・活用方法が分からない。
- ・何を困難ケースとするのか？

☆居宅の勉強会が少ない

④グループ

☆見学実習について

- ・1名受け入れ。他のCMにも協力してもらいサ坦に参加してもらった。
- ・青本読み込み対応。
- ・サ坦の同席調整が難しい。
- ・当日学びたい事を本人より聞いた。

☆集中減算について

- ・半年毎に、事業所利用者を書き出し把握(担当者を決めて)
- ・新規の契約時に80%心配であれば、他を紹介
- ・毎週把握している。対策:同じ悩みのある事業所・居宅を入れかえる

☆主任ケアマネ様式について

- ・困難ケース相談票は居宅が記入している。
- ・対応後の日付は・・・ →包括に報告した日
- ・包括・民生委員・警察・市役所が関わった困難事例

⑤グループ

☆見学実習について

- ・現在は他に職業に就いておられ各務原でCMの資格を持っており、知識は豊富な方。
サ坦に参加された際、既に事前に聞くことを考えて参加されていた。
こちらから教えてもらうことが多かった。自分自身勉強になった。
- ・受け入れるにあたって給付管理のコピー、冊子(各務原市)等を渡し地域性を知ってもらうようにした。

☆集中減算について

- ・事業所をバラして利用する。(毎月チェックするようにする)
- ・他の居宅に協力を得る。

2.) 実地指導報告内容より

☆かいご処 あいの堀さんより報告いただいた内容に加え・・・

○社協 菅原さんから

- ・モニタリングをしていないサービスがあったので、必ずサービスに対応したモニタリングを行っていく。
- ・入院中などでモニタリングができなかった場合は支援経過に書いていく。
- ・居宅管理指導を計画に位置付ける。ケアプランを医師に渡す。
- ・計画に位置付けていない、福祉用具があったので必ず確認していく。
- ・サービス計画書を必ずもらう(交付を求める)
- ・計画がケアプランに合っているかを確認し、インフォーマルな資源も盛り込んでいく。

○リバーサイド川島園 進藤さんから

- ・ファイルの確認で加算以外のケースで給付管理票を見て実地指導の職員の方が選んだケース(介護1で加算は取っていないがDSを2か所に加えヘルパーを利用していた)もあった。
→加算のケースばかりでなく、ランダムでケースを指定された。

3.) グループワーク内で出た質問と回答

○困難ケース相談票について

①包括はこの書式を提出しているのか？

・答え:数年前は一部包括では依頼で提出していたが、今は提出していない。

②どのように活用するのか？

・答え:包括から依頼で提出。また居宅からも依頼で提出。双方の活用。

③最初包括が関わってなくても、途中に関われば提出の依頼は可能か？

・答え:可能

○かかみがはらし主任ケアマネ様式について

・4年ほど前に作成したが知らない主任ケアマネさんが多い

→書式一式を添付しましたので活用ください。

*特定加算を取っておられない事業所さんも今後の為に参考にしてください。

○虐待の研修について

・社会福祉支部会主催

日時 : H30年1月22日 (月) 13時~14時30分

場所 : 産業文化センター 2階 第3会議室

*11月中旬に案内送付予定